

大阪城

2021
7/5 (月)
14/79 号

全港湾
西成分ム

224
6647-
4947

沖繩は梅雨が明けたようだ。いつもより1日ほどお暑いという。そのうち関西も明け熱30度とニす。熱帯夏がやってくる。カナダアメリカの北西部は、4度もニす。熱波で人が死んでいるという。

地球の温暖化の危機がさげばれ、炭酸ガスCO₂が大気に多くなると、温室効果の役割をはたすので、CO₂炭酸ガスを出すものを中止しはじめている。

石炭は何億年前にも前に地球にはあった樹木が冷化などで倒れ死滅してつもり、それが固まったものが石炭だという。なので、石炭の層は5メートル以上の層にはならないという。石油は、プランクトンなど微生物の死骸からできたという。

それで、今、石炭もやまず、石油がメインを使わず、自動車もあと10年くらいで、電気自動車、水素自動車にむけ、社会や産業は大きく変化してきている。人間の関りも、天地人とわれ、天の利地の利、人の利と活用し、関りごと、兵法でも教えられている。天・宇宙の動き、人工衛星などや、地・地球自然、温暖化やそれによって飛ぶ出してくるウイルスや社会、人の流れを、読み読み開くことを昔ながら説いている。日本の政治はどのくらいまでいっているのだろうか。

今年も豪雨災害の時節

梅雨が本格化・今週雨が続きそう

崖の上の一軒 明日撤去予定

大阪市西成区で発生した崖崩れで民家4軒が崩落した問題で、松井一郎市長は1日の記者会見で、崖の上に残っている1軒の撤去作業を2日から始めると明らかにした。市の計画によると、崖の上から重機で民家を押しながら下からもワイヤを引っ張る。そうして崖から落として倒壊させる。準備に数日かかり、6日に作業を終える見通し。周辺の住宅には必要に応じて避難を要請するという。【毎日新聞田畠広景

静岡県熱海市伊豆山の土石流で、県警などは4日、行方不明者の捜索を本格化させる。県などによると、これまでに土砂に流された女性2人の死亡が確認された。約20人が安否不明とみられ、確認を急いでいる。県災害対策本部などによると、土石流は3日午前10時半ごろ発生。JR熱海駅北側の逢初川沿いで大量の土砂が海に向かって約2キロにわたり流れた。多数の家屋が押し流され、約80世帯の住宅が被害に遭ったとの情報もある。県警や消防、自衛隊が救助活動を進め、3日夜までに建物内などから男女10人を救出した。4日以降も雨が予想され、二次災害を警戒しながら行方不明者の捜索が続けられる。熱海市によると、現場周辺では断水が発生。3日午後9時時点で約260人が避難所に身を寄せた。JR東日本は東海道線の小田原―熱海駅間について、4日午前の運転見合わせを決めている。【時事通信社 7/4